

こえ  
聲

# 私のいいこと



小林 聖さん  
(上延生)

## 地元に思うこと

新型コロナウイルスの感染が始まって3年目の秋を迎えました。今年も町の夏祭りが中止を余儀なくされ、少し寂しい夏の終わりであったように思います。我が家では、コロナ禍の中で育ち、夏祭りを知らない子どもたちのために、自宅の庭で家族だけの小さな夏祭りを開催しました。

そのような中、最近改めて思うことは、私が子どもの頃、毎年開催されていた町のイベントは、当たり前のことではなく、地元を元気にするために、商工会の方や役場の方などたくさんの方が支えてくれたのだなということです。

イベントに限らず、私たちの地元芳賀町は、たくさんの誰かが支えています。学校や農業、自治会などいろんな人が地元を地元として維持してくれています。

私も消防団員として、ささやかながら地元を支えて行けたらいいなと思っています。



高林 辰一さん  
(下高根沢)

## 子どもたちが安全に遊べる地域を目指して

私は下高根沢に家族6人で住んでいます。

わんぱく盛りの2人の子どもを自然豊かな環境の中、のびのびと周りの人に支えられながら子育てをしており、町からの援助、医療費無料、子育て支援など安心を感じる住みやすい町だと思います。ゲームやAI機器が進んできたことで家の中で過ごす時間も多くなり、外で遊ぶ子どもも少なくなったように思います。

高齢化が進み農地放棄や空き家などが増え、自然環境の変化や災害、事故、防犯面などが心配です。安心して周囲を遊び駆け回ることができるよう町からの支援、援助を希望します。

今も地域の消防団の一員として、見守り続けたいと思います。



直井 八重子さん  
(西水沼)

## 地域のつながり

私は退職後に町の食生活改善推進員となり、西水沼地区の仲間と活動をしています。今まで近所にながら全然交流のなかった方々と親しくなり、今ではとても大切な仲間となっています。

私たちは地域の調理実習をはじめ、女性防災クラブと合同で防災訓練の炊き出し等、そして地区イベント納涼祭・コスモス祭りには赤飯、餅、豚汁など作りました。交流を通して大先輩や若い人たちの考えには気付き、教えられることが多くありました。

西水沼農業構造改善センターは自治会の協力により調理室の改善整備をしていただき、楽しく調理しています。活動するには環境整備も重要です。地域の皆様には感謝です。

新型コロナ収束後にはここを居場所として地域の皆さまの健康寿命の延長・フレイル予防等活動したいと考えています。

※フレイル予防とは・・・心と体の働きが弱くならないよう予防すること